

IV 良質な個別サービスの実施(障害児施設:居住サービス)

【 評価項目 】		a	b	c	Na
A-1 利用者の尊重					
(1)利用者の尊重					
1	1	コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされている。	○		
2	2	利用者の主体的な活動を尊重している。	○		
3	3	利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する声かけや見守りと支援の体制が整備されている。	○		
4	4	利用者のエンパワメントの理念に基づくプログラムがある。	○		
<p>(特に評価が高い点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人権意識を高めようと努められていることは、心理療法や「虹の会」、「華会」の活動記録から窺えました。また、コミュニケーション手段として、生活の場で絵カードやPECSが活用されています。 ●利用者の「自力で通学したい」という思いに対し、バスや電車で通えるよう学校と協力しながら支援しています。このような支援は、子供たちの「学びたい」という力を引き出そうとする取組として高く評価されます。 <p>(改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コミュニケーション、主体性、エンパワメントというキーワードは、障害児童にとって欠かすことのできない権利です。日常の中で身近に感じ取れる支援が期待されます。 					
(2) 利用者の権利擁護					
5	1	利用者の権利を擁護する具体的な取組が行われている。	○		
<p>(特に評価が高い点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●職員に年に3回、利用者の権利擁護についてアンケートを実施して現状を把握するなど、常に権利擁護の意識付けが行われています。施設が取り組む3本柱の一つとして、「人権擁護」に精力的に取り組まれていることは、人権擁護・虐待防止委員会による活動や研修の記録により確認できました。 <p>(改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特にありません。 					
(3) 保護者との連携・交流					
6	1	保護者との連携・交流が積極的に行われている。	○		
<p>(特に評価が高い点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●利用者の入所については措置入所が相当数あるとのことです。それぞれ特別の事情があるようで、保護者との関係は特段の配慮が必要ですが、利用者の思いを大切に、関係を維持しています。具体的には、利用者の近況報告に写真を添える等の心配りがされており、高く評価されます。 <p>(改善が求められる点)</p> <p>特にありません。</p>					

【 評価項目 】				a	b	c	Na
(4) 生活環境づくり							
7	1	利用者が過ごしやすい環境づくりに取り組んでいる。		○			
<p>(特に評価が高い点) ●施設の新築移転により全室個室となり、プライバシーが保護されていると共に、居室に利用者の私物の持ち込みができることなど、利用者の趣向に合った部屋作りがされています。利用者からの聞き取りでも満足感が窺えました。また、旧施設での課題をクリアすべく、スムーズな移動ができるようユニバーサルデザインを意識し、安全で快適な居住空間となっています。</p> <p>(改善が求められる点) 特にありません。</p>							

A-2 日常生活支援							
(1) 食事							
8	1	サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている。		○			
9	2	食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されている。		○			
10	3	喫食環境(食事時間を含む)に配慮している。		○			
<p>(特に評価が高い点) ●利用者の身体状況などに配慮された一人ひとりの食事支援標準書が作成され、個別の支援方法が標準化されています。また、食事時間も余裕を持って設定しており、楽しく食事ができるように工夫されていることが確認できました。</p> <p>(改善が求められる点) 特にありません。</p>							

(2) 入浴							
11	1	入浴は、利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している。		○			
12	2	入浴は、利用者の希望に沿って行われている。		○			
13	3	浴室・脱衣場等の環境に配慮している。		○			
<p>(特に評価が高い点) ●特殊浴槽、リフト浴槽、共同浴槽、個人浴槽などが整備され、個々の障害に合わせて利用できるよう整備されています。 ●入浴基準書が作成され、児童の個々の発達状況に合わせて、個別の支援方法が標準化されて実施されています。 ●高等部の利用者とは入浴時間・入浴回数を話し合いで決めています。また、個人用のシャンプーやボディソープの使用ができ、嗜好に対応されています。 ●脱衣所の冷暖房設備をはじめ、手すりなどの安全対策、プライバシーを保護する構造は高く評価されます。</p> <p>(改善が求められる点) 特にありません。</p>							

【 評価項目 】			a	b	c	Na
(3) 排泄						
14	1	排泄介助は利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している。	○			
15	2	トイレ環境に配慮している。	○			
<p>(特に評価が高い点) ●利用者一人ひとりの発達や特性等に応じた基準書が整備され、排泄に関する標準化のためのマニュアルが整備されるとともに、機能していることは高く評価されます。</p> <p>(改善が求められる点) 特にありません。</p>						

(4) 移乗・移動						
16	1	移乗・移動介助は、利用者の身体状況や介助方法など個人的事情に配慮している。	○			
<p>(特に評価が高い点) ●移乗・移動についてのマニュアルが整備され、併設施設の理学療法士の意見を聞くことで、利用者に合わせた福祉用具が活用されています。一人ひとりが安全に、自分の力が出せる工夫がされていることは高く評価されます。</p> <p>(改善が求められる点) 特にありません。</p>						

(5) 衣服						
17	1	利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援している。	○			
18	2	衣類の着替え時の支援や汚れに気づいた時の対応は適切である。	○			
<p>(特に評価が高い点) ●利用者の個性や好みを尊重し、衣類の選択や購入が支援されています。汚れや破損は見受けられません。また、居室での着替えをわかりやすく促すために、絵カードが活用されるなど、利用児童の特性や発達に応じた支援が行われている点は高く評価されます。</p> <p>(改善が求められる点) 特にありません。</p>						

(6) 理容・美容						
19	1	利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援している。	○			
20	2	理髪店や美容院の利用について配慮している。	○	-		
<p>(特に評価が高い点) ●移動理美容室や地域の理美容院に出向くなど、利用者の個性や好みを尊重するとともに、自立支援の観点からも職員が付き添うなど、利用者の特性や発達に応じた支援が行われている点は高く評価されます。</p> <p>(改善が求められる点) 特にありません。</p>						

【 評価項目 】				a	b	c	Na
(7) 睡眠							
21	1	安眠できるように配慮している。		○			
<p>(特に評価が高い点) ●全室個室で冷暖房が完備されており、夜勤報告では温度・湿度もチェックされ、睡眠の状況を細かく申し送りされています。利用者の個性や好みにより寝具等の私物使用が認められ、消灯・点灯も利用者の希望に応じています。</p> <p>(改善が求められる点) 特にありません。</p>							

(8) 健康管理				a	b	c	Na
22	1	日常の健康管理は適切である。		○			
23	2	必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。		○			
24	3	内服薬・外用薬等の扱いは確実にされている。		○	-		
<p>(特に評価が高い点) ●医療機関と看護師が連携しながら、日常の健康管理に努めていることが確認できました。 ●緊急時の対応マニュアルが整備され、休日、夜間の対応方法について別に定めるなど、健康面に変調があった場合の具体的な対応の手順が徹底されていることが確認されました。 ●誤薬防止のため薬は一包化され、点呼確認のうえで服薬がされています。</p> <p>(改善が求められる点) ●服薬はダブルチェックをする体制が取られています。しかしながらそれでもヒヤリハット記録があります。大事には至っていないようですが人間のすることです。さらなる改善が求められます。</p>							

(9) 余暇・レクリエーション				a	b	c	Na
25	1	余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている。		○			
<p>(特に評価が高い点) ●「虹の会」を通じて利用者の意向を取り入れようとする姿勢が確認できました。職員が外出やレクリエーション、華まつりなどのイベント企画を主体的に活動できるよう支援していることは評価されます。</p> <p>(改善が求められる点) 特にありません。</p>							

(10) 外泊、外出				a	b	c	Na
26	1	外出、外泊は利用者の希望に応じて行われている。		○			
<p>(特に評価が高い点) ●原則的には、外出や外泊は利用者の家族の意向に沿って行われていますが、「自力で通学したい」という高等部の利用者はバスや電車等で通えるよう、施設と学校の協力体制のもと支援をしています。</p> <p>(改善が求められる点) 特にありません。</p>							

【 評 価 項 目 】		a	b	c	Na
(11) 所持金・預かり金の管理等					
27	1 預かり金について、適切な管理体制が作られている。	○			
28	2 まんが・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意志や希望に沿って利用できる。	○			
<p>(特に評価が高い点) ●預かり金は利用者貴重品等管理要綱に基づき管理されており、4か月に1回小遣いの使途状況や現金残高を保護者に報告されています。 ●高等部の利用者には、バスや電車を利用するための金銭の自己管理学習を支援しています。 ●まんがや雑誌などは、本人の小遣いの中で自由に購読ができます。また、ゲームなど共同で利用するものは、「虹の会」で利用者がルールを決めて使用しています。</p> <p>(改善が求められる点) 特にありません。</p>					

A-3 自立支援					
(1) 療育の実施					
29	1 利用者の発達段階に応じた適切な療育を実施している。	○			
<p>(特に評価が高い点) ●適切な療育について、心理士日誌と業務日誌により支援の記録が確認できました。 ●生活支援計画書はアセスメント表に基づいてプラン化されています。 ●個別の処遇はケース担当が毎月評価し、職員会議で検討されています。 ●利用者の学校や施設での状況は、支援学校と学期ごとの連絡協議会で情報交換が行われており、随時連携が図られています。</p> <p>(改善が求められる点) ●アセスメント表は、プロフィール、プラン、評価と一体のものとして、個別のケース記録に掲載されるよう工夫が求められます。</p>					

(2) 進路選択の支援					
30	1 利用者の進路について支援を行っている	○			
<p>(特に評価が高い点) ●特別支援学校と連携を取りながら、保護者とも話し合いの場を持ち、最後は本人の意思を尊重して進路を決定しています。生活の場、経済、日常的な支援等にも配慮して支援されていることは、利用者からの聞き取りでも確認できました。</p> <p>(改善が求められる点) 特にありません。</p>					

(3) 地域生活への移行					
31	1 利用者の状況に応じ、地域生活への移行についての支援を行っている。	○			
<p>(特に評価が高い点) ●地域移行については、支援学校や市町担当者はもとより、相談支援事業所と連携しています。 ●施設内に生活体験可能なスペースが確保されており、利用者が地域移行をイメージし易い体験ができます。</p> <p>(改善が求められる点) ●同一施設内に相談支援事業所が設置されており、地域の自立支援協議会の情報等は相談支援事業所経由となっているようですが、施設として直接情報を得たり協議することが期待されます。</p>					